

留学生の日本就職ガイド
2021

一般社団法人留学生就職サポート協会

はじめに

今この本を手に行っているあなたは、海外から日本にやって来た留学生の方でしょうか。それとも留学生の日本での親代わりを務めている保証人の方でしょうか。もしかしたら、大学や専門学校で留学生の学業や進路の指導を担当している教職員の方かもしれませんね。

本書は、そうした留学生本人や留学生に関わっているすべての方が、留学生の就職活動に関する正しい知識を持ち、それぞれの時点で何をすべきか、どんなアドバイスや支援をすべきかの判断ができるよう、必要不可欠な情報をコンパクトにまとめたガイドブックです。

日本では多くの企業が、今後の戦略の中核を担う人材として、優秀な留学生を採用したいと真剣に考えるようになってきました。これは、少子高齢化により日本人の若年労働者が枯渇しているから外国人に依存せざるを得ないという、消去法的な理由ばかりで

なく、グローバル化が進展するなか、コミュニケーション能力やダイバーシティへの適応力という観点で、日本人よりも外国人留学生の方がはるかに優れているという、積極的な理由に基づくものです。

一方において、日本企業で働くことを望んでいる留学生も、かなりの数に上るわけですから、両者がうまく出逢うことさえできれば、留学生にとっても日本企業にとってもハッピーな結果となるはずなのですが、このマッチングがそう簡単ではないのです。多くの留学生は、日本企業がどんな人材を求めているかを理解していないため、自分の強みや持ち味を効果的にアピールできずにいます。日本企業も、留学生の採用に慣れていないため、日本人に適用する尺度で留学生も評価することから、真の逸材を見逃してしまうことが多いのです。こうした留学生と企業とのすれ違いによる悲劇を防ぐことも、本書の重要な目的です。

本書は、大きく3つの部分に分けられます。

第1章から第3章では、現在の日本の産業界においては、留学生の日本での就職が熱望されており、各種の法律や政策もそれを強烈に後押ししているものの、実際にはそう

簡単に就職が決まる状況にはなっていないという、矛盾に満ちた現状とその原因を明らかにします。

第4章から第7章では、留学生の目の前に立ちはだかる「就職の壁」を乗り越えるためには、具体的にどんな準備や工夫や心構えが必要となるのかを、日本企業の採用活動の特性や人事担当者の典型的な思考パターンを踏まえて、詳細にアドバイスします。

第8章と第9章では、めでたく企業から内定を取得した後、入社までに確実に済ませなければならぬ在留資格変更の手続きに熟知するとともに、入社後に困らないレベルまで、日本企業の仕組みやルールについての知識を高めます。

さあ、本書を読み進めることで、日本で就職するための極意を会得しましょう！

目次

はじめに 3

第1章 日本の産業界は留学生を求めている 13

1 労働力人口の減少 14

2 グローバル化の進展 20

3 日本で就職する意味 27

4 少ない専門型人材 31

5 日本企業はどのような留学生を求めるのか 36

第2章 政策も法律も就職を後押しする 43

1 留学生30万人計画 44

2 在留資格の緩和 47

3 出入国管理及び難民認定法の改正 51

4	変わる日本人の意識	57
---	-----------	----

第3章	それでも「就職の壁」が立ちはだかる	63
-----	-------------------	----

1	さまざまな「就職の壁」	64
---	-------------	----

2	教育機関や企業は留学生の就職に不慣れ	69
---	--------------------	----

3	日本独特の採用方法	77
---	-----------	----

4	留学生への高い期待水準	82
---	-------------	----

第4章	「就職の壁」を乗り越えるために	89
-----	-----------------	----

1	最優先すべきは日本語能力の強化	90
---	-----------------	----

2	日本のビジネス習慣に関する理解	97
---	-----------------	----

3	言葉遣いやマナーの習得	102
---	-------------	-----

4	自分の「売り」を磨く	107
---	------------	-----

5	多様な効果を生み出すアルバイト	111
---	-----------------	-----

第5章	志望企業を絞り込む	115
-----	-----------	-----

1 就職活動全体の流れ 116

2 就職関連情報の収集方法 125

3 業界・企業研究 129

4 OB・OG訪問とインターンシップ 134

5 プレエントリーと会社説明会 138

第6章 エントリーシートを書く 145

1 徹底した自己分析と分析結果の整理 146

2 エントリーシート作成の鉄則 151

3 自己PRのブラッシュアップ 156

4 志望動機のブラッシュアップ 167

5 ガクチカカのブラッシュアップ 171

第7章 採用試験本番に臨む 185

1 筆記試験・ウェブテストの対策方法 186

2 面接試験の臨み方 189

3	留学生への想定質問	202
4	内定から入社まで	209

第8章 在留資格の手続きを行う

1	在留資格変更	212
2	審査に必要な書類	214
3	審査のポイント	219
4	転職活動の注意点	225

第9章 日本企業の仕組み

1	採用から退職までの流れ	229
2	妊娠・出産・育児・介護のルール	230
3	福利厚生	241
4	給与明細のチェックポイント	243
5	社会保険の諸制度	246

労働力人口の減少

① …… ある街の1日の光景

外国人であるあなたの目に映る日本の1日をざっと見てみましょう。もちろん、住んでいる地域によって違いがありますから、東京近郊の勤め先まで電車で1時間ほどかかる住宅地で、都市型の生活地ということにします。

朝、電車が一番混雑するとされる通勤時間帯の午前7時から8時頃、駅は会社や学校に向かう会社員、生徒、学生で溢れかえっています。どの電車にも女性専用車両が付いていて、それだけこうした通勤時間帯での女性の利用者が増えていることがわかります。

日本では働き手が減少してきていて、女性も男性とともに重要な働き手となってきているのです。つまり、「男性は外で働いてお金を稼ぐ人、女性は家において育児や食事作り、掃除、洗濯などの家事をする人」という役割分担の生活から大きな変化が始まっています。ですから、あなた

が乗った電車の運転手さんや車掌さんはひよっとすると女性かもしれません。

そして、駅の構内や駅のそばには、たいいていコンビニエンスストアがあり、こうしたコンビニエンスストアの店内は、どこも大変混雑しています。お客様の対応に忙しく働いている従業員を見ますと、日本人ではない若い外国人の方も複数いることがわかります。そのほか、立ち食いそば屋やおにぎり・弁当などを売る店などもあり、こうしたお店でも留学生が朝早くから働いています。

子供が減少して「少子化」と呼ばれる時代に突入している日本では、若い働き手が不足しています。もちろん、コンビニエンスストアなどでアルバイトをする日本の若者もいますが、アルバイト代が割高であっても、早朝や深夜にアルバイトを望まない傾向が日本の若者にはあるようです。

それでは次に、10時過ぎからお昼を挟んで午後の3時頃までの街を歩いてみましょう。

朝の通勤・通学ラッシュが終わって、なんとなくのんびりとした雰囲気があります。これから電車に乗ってどこかに出かける奥さんらしい人、ゆっくり散歩をしている高齢者、子供をベビーカーに乗せてスーパーマーケットに向かう人、コーヒーマシヨップでお茶を飲んでいる人、銀行や郵便局へ足を運ぶ人、公園で幼児を遊ばせる若いお母さんやベンチに腰掛けている高齢者な

どさまざまです。また、家の前やマンションの入口に、高齢者を迎えに来た養護施設やデイサービスをする施設の車が停まって、施設の人が車椅子などを用意していることなどもよく目にするようになりました。一方、駅前や住宅地の工事現場では、外国人らしい人の働き手の姿をよく見掛けます。

でも、気づくことがあります。それは昼間の時間帯は高齢者が多いこと、子供を連れた若いお母さんやこれから出産を控えている女性の姿が意外に少ないことです。駅前などに来る病院の送迎バスを待っている人は圧倒的に高齢者です。さらに介護・養護施設が増えて、幼稚園バスが満員で走っていることがなくなりました。

日本が「少子高齢化社会」と呼ばれているのがよくわかります。特に高齢者に限って言えば、日本は65歳以上のお年寄りが全人口の21%を超える「超高齢化社会」となっています。つまり日本の全人口のうち、4分の1の人が定年となっていて、年金暮らしをしていることになるわけです。そして、こうしたお年寄りの生活を支えているのは、今現在働いている人たちなのです。

ところが、総務省の推計によりますと、2018年4月1日現在、日本の15歳未満の子供（生産年齢に達していない、まだ義務教育が終わっていない中学生まで）の数が、男子795万人、女子758万人の合計1553万人だったそうです。2017年より17万人減少して過去最低となり、1982年から37年間連続で減り続けています。日本では、2018年に総人口のうち、

日本のビジネス習慣に関する理解

留学生の皆さんは日本で生活していて、母国の文化や習慣と大きく違った部分を、これまでたくさん見てきているかと思えます。挨拶やお辞儀、マナーやルールなど、さまざまな日本特有の習慣があります。日本に来た頃には、ごみの出し方や、住居の契約や家賃の支払い方・・・、生活のあらゆる場面で苦労した経験があるのではないのでしょうか。普段の日常生活でも母国との違いを感じてきたと思いますが、日本で就職を考えている人は、日本のビジネス習慣も理解する必要があります。ビジネス習慣というのは、日本で働く上での社会の習慣と考えてみるとイメージしやすいかもしれません。たとえば、敬語も日本のビジネス習慣の1つです。皆さんもよく知っている通り、尊敬語、謙讓語、丁寧語という3つの種類があります。皆さんも友達と話す時、先生や店長、先輩やお客さんと話す時にはそれぞれ違う話し方をしていてと思います。会社で働く時も同じです。先輩や上司、他の会社の人やお客さんなど、場面に応じて正しい敬語を使う必要が出てきます。

日本のビジネス習慣は、もちろん敬語だけではありません。その他にも多くのビジネス習慣があるので、すぐにすべてを知るのは難しいかもしれません。ただ、いくつかのキーワードを知っておけば、就職してから日本のビジネス習慣に関して新たに疑問が出てきたとしても、理解しやすくなるかもしれません。ここではまず、「年功序列」と「終身雇用」という2つのキーワードを押さえておきましょう。

「年功序列」とは、年齢や勤続年数によって、給料や役職を決めていくシステムです。一般的には年齢と勤続年数が増えるに連れ、給料も役職も上がっていきます。次に「終身雇用」とは、ある会社に正社員として入社した場合、定年まで働くことができるというシステムです。日本では戦後から現在に至るまで、「年功序列」と「終身雇用」というシステムが日本の社会を支えています。日本の経済の発展を助けてきたと言われています。つまり、この2つのシステムのもとでは、同じ会社で定年までの長い期間、真面目に働いていけば、基本的には次第に偉くなっていき、給料も高くなっていくということです。

ここで1つ注意しなければならないのは、日本の社会では能力があるかないかということよりも、年齢と勤続年数の方を重視する傾向があります。ですから、皆さんが若くて能力が高かったとしても、それだけですぐに偉くなったり高い給料がもらえたりするわけではありません。

ただし、最近では「年功序列」や「終身雇用」というシステムが成り立たなくなってきている

のではないかという議論も盛んです。経済や社会が安定していたからこそ「年功序列」や「終身雇用」というシステムが成り立っていたのですが、少子高齢化問題などの社会の問題が今まで以上に増えてきているためです。その結果、徐々にですが「年功序列」や「終身雇用」という考えにとらわれない人や企業が社会全体に増えてきています。最近では、数年間1つの会社で経験を積んだら転職や起業を考えたいという若い世代の人も少なくありません。

ただこのように、少しずつ社会全体で考え方が変わってきていますが、基本的には従来通り年齢や勤続年数を重視するのが日本の社会であるということには覚えておきましょう。

次に、年齢が高いことや勤続年数が長いことが、どのように日本社会に関係しているか、見ていきたいと思います。

年齢や勤続年数が自分より上の人に日常のあらゆる場面で出会う機会があると思いますが、年齢や勤続年数が上の人は誰でもあなたの先輩と考えていいでしょう。皆さんはアルバイト先や学校などで先輩・後輩という言葉聞いたことがあるかもしれません。これが日本の基本的な上下関係になります。国によっては、そうした上下関係がない、あるいはそこまで気にしない地域もあるかもしれません。日本は先輩にはいろいろと気を遣う必要がある社会です。また、場合によつては、勤続年数は自分より上、年齢は自分よりも下という先輩もいます。そのような場合でも自分よりも勤続年数が長い人は、年齢にかかわらず全員先輩だと考えましょう。

おわりに

本書の発行者である「一般社団法人留学生就職サポート協会」は、「日本での就職を希望する留学生と留学生を採用したい日本企業の橋渡し役を果たす」という基本理念のもとに、企業関係者や大学・学校関係者によって結成された組織です。当協会の就職サポートの大きな特徴は、単に留学生と企業を結びつけるのではなく、あらかじめ短期間のセミナーでさまざまな知識やスキルを習得することによって、留学生を企業のニーズに合致した人材へのブラッシュアップを実現し、その後に企業とのマッチングを図るというプロセスを用いているところです。

本書は、上記のセミナーでも教材として使用されますので、もし本書の指導内容に沿って自己のブラッシュアップを実現したいものの、自分自身でそれを実現するのが難しいと考える方は、このセミナーを受講するという道を考えても良いかもしれません。

本書を締めくくりにあたり、読者の方にお願いたいことが1つあります。就職活動をめぐる環境は、時々刻々目まぐるしく変化します。したがって、本書もその時々

況を的確に反映するために、絶えず改訂を繰り返す覚悟で出版されています。そこでもし、留学生として、もしくは留学生を支援する立場として、「こんな内容も追加して欲しい」とか「この部分はこのように修正すべきだ」というご意見やご指示がありましたら、後輩たちや日本各地で頑張っている他の留学生のためにも、是非とも出版社（論創社）までお寄せいただきたいと思います。絶えず留学生のニーズを取り込み、改善を積み重ねることで、日本での就職を希望する留学生にとって、真に役立つガイドブックになると考えているからです。

この本が、あなたの夢の実現に少しでも役に立つことを、心から願っております。

一般社団法人留学生就職サポート協会定款抜粋

(目的)

第3条 この法人は、日本で学ぶ外国人留学生の日本での就職を推進するため、企業と連携を図るとともに、留学生と企業に向けて、就職にかかわる教育、啓発活動を行い、優秀な外国人留学生の日本企業への就職希望の実現によって、現在、日本の産業界が直面している人材不足の解消に寄与することを目的とする。

留学生の日本就職ガイド 二〇二一

二〇一九年八月三〇日初版第一刷発行

編・著者 南雲智・寺石雅英

発行者 一般社団法人留学生就職サポート協会

発売 論創社

東京都千代田区神田神保町二二三北井ビル

郵便番号 一〇一〇〇五一

装 幀 宗利淳一

組 版 フレックスアート

印刷・製本 中央精版印刷株式会社

©Ryugakusei Shushoku Sapoto Kyokai, Printed in Japan 2019

ISBN 978-4-8460-1864-1